



2025 年 4 月 23 日

各 位

A b a l a n c e 株 式 会 社

代 表 取 締 役 社 長 岡 田 竜 介

(コード番号：3856 東証スタンダード)

問合わせ先：IR・経営企画副室長 内 田 晋

電 話 ： 0 3 - 6 8 1 0 - 3 0 2 8 (代 表)

(開示事項の経過) 当社連結子会社による新工場建設に関するお知らせ

当社は、2024 年 10 月 15 日開示「当社連結子会社による新工場建設に関するお知らせ」にて公表しました、連結子会社 TOYO Co., Ltd. (以下、「TOYO」という。)のエチオピア太陽光セル新工場につきまして、本年 4 月に生産を開始しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. TOYO のエチオピア連邦民主共和国の太陽光セル新工場生産開始について

TOYO は、現在の主力事業拠点であるベトナムに加え、太陽光パネル及びセルのグローバル・サプライチェーン体制確立へ向けた一貫として、エチオピア連邦民主共和国に太陽光セルの新工場を建設し、4 月初旬に生産を開始しました。初期納入として、4 月末までに 80MW (メガワット) 以上のセルを顧客に供給予定です。本件は、エチオピア工場の第 1 フェーズとなり、年間の生産能力は 2 GW (ギガワット) の計画です。

2. 今後の生産体制について

TOYO の新工場は初期納入に続き、生産能力を拡大し、2025 年 6 月までにフル稼働を予定しており、月産能力は 150~200MW に達する見通しです。更に当社が 2025 年 3 月 25 日に開示した「当社連結子会社 TOYO のエチオピア太陽光セル工場第 2 フェーズ建設に関するお知らせ」のとおり、堅調な外部顧客の需要増加と TOYO の米国テキサス州ヒューストンで建設中の太陽光パネル新工場の需要を見込み、既に第 2 フェーズ (年間の生産能力：2 GW) の建設を準備しており、年間の生産能力は合計で 4 GW となります。TOYO は、太陽光パネル及びセルのグローバル・サプライチェーン体制を強化し、再生可能エネルギーの世界的な需要拡大に対応します。

3. TOYO の会長兼 CEO である Junsei Ryu (当社取締役) のコメント

「太陽光市場の旺盛な需要を前向きに捉えており、現在エチオピアにおける 2 GW の追加拡張計画の実現に向けて鋭意取り組んでいます。太陽光発電が持つ、低コストで迅速に電力を供給できる特性と、当社のグローバルな持続可能エネルギーへの取り組みが追い風となり、2025 年は TOYO にとって飛躍の一年となる見通しです。」

◇本件に関連する TOYO の英語リリースは下記よりご参照下さい。

<https://investors.toyo-solar.com/news/news-details/2025/TOYO-Commences-Production-in-its-2GW-Solar-Cell-Facility-in-Ethiopia/default.aspx>



TOYO SOLAR MANUFACTURING ONE MEMBER PLC（エチオピア新工場）の正面写真



TOYO SOLAR MANUFACTURING ONE MEMBER PLC（エチオピア新工場）の製造現場写真

以 上